

お手入れ方法

使用後は、必ずその日のうちにお手入れしてください。
お手入れするときは、柔らかいスポンジで行ってください。

本体(外側・内側)のお手入れ

本体は食器用洗剤を薄めたぬるま湯で柔らかいスポンジ・フキンで洗った後、水洗いしてください。
水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

蓋ユニット

蓋ユニットは丸洗いできます。スポンジで洗った後、水洗いしてください。
水分を拭き取り、十分に乾燥させてください。

蓋パッキン

蓋パッキンを蓋ユニットから取り外し、ぬるま湯で丸洗いし、
乾いた布で水分を拭き取ってください。

△ お手入れ上の注意

●ご使用後は、必ずきれいに洗ってください。

お手入れが不十分だと、におい、汚れ、パッキンの変色の原因となるおそれがあります。

●本体を洗った後は、すぐに水分を拭き取ってください。

水滴の跡が残ったり、サビやものを汚す原因となります。

●シンナー、クレンザー、金属タフシ、化学雑巾などは使用しないでください。

キズやサビ、破損の原因になります。

●本体や蓋ユニットの煮沸、及び食器洗浄機や食器乾燥機などは 使用しないでください。

変形や漏れの原因になります。

●塩素系漂白剤は使用しないでください。

サビ、破損の原因になります。

●本体・蓋ユニットはつけ置き洗いなどはしないでください。

●蓋ユニットを本体に取り付けたままお手入れしないでください。

お手入れの際はそれぞれ取りはずした状態で行ってください。

●長時間ご使用にならない場合は、汚れをきれいに洗い落とし 完全に乾燥させてから清潔な場所で保管してください。

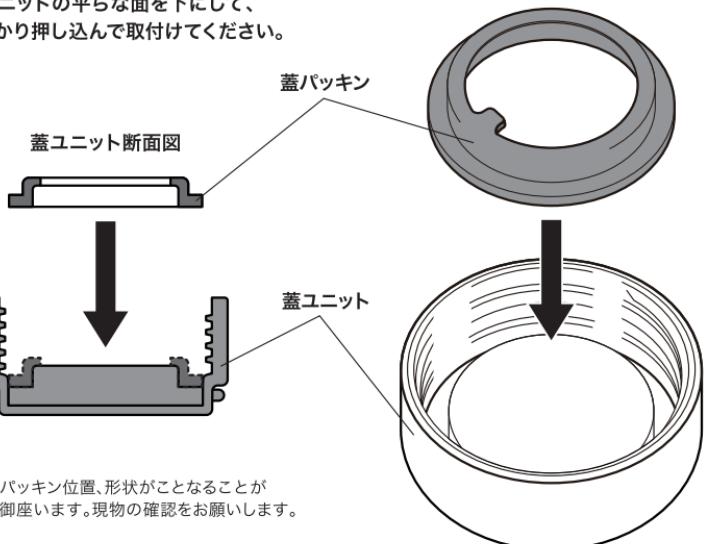
パッキンの取り付け方

正しく取り付けられていないと、漏れの原因になります。

お手入れなどで、蓋パッキンを取り外した後は、正しく取り付けてください。

蓋パッキンの取り付け方

蓋ユニットの平らな面を下にして、
しっかり押し込んで取付けてください。



注意:パッキン位置、形状がことなることが
御座います。現物の確認をお願いします。

蓋パッキンは消耗品です。

約1年間を目安にご確認いただき、作動がスムーズでなかったり、

表面のザラつきや損傷がある場合は交換してください。

消耗のある場合は、品番をお確かめのうえ、表示者までお問い合わせください。

赤い斑点・ザラザラが付着した場合

サビのような赤い斑点ができる場合

水に含まれる鉄分などが付着したもので、食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、30分ほど放置した後、柔らかいスポンジブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。
食酢が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

ザラザラしたものが付着した場合

水に含まれるカルシウムが付着したもので、クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れて、蓋ユニットを取り付けず、3時間程放置した後に柔らかいスポンジブラシなどで、内びんの内壁をよく洗ってください。クエン酸が残らないようにきれいな水でよくすすいでください。

製品仕様

品番	AWPB-501	AWPB-701	AWPB-1001
品名	ステンレス製携帯用魔法瓶		
本体	内びん／ステンレス鋼		
蓋ユニット	ステンレス鋼、ポリプロピレン		
蓋パッキン	シリコーンゴム		
実容量	0.53L	0.7L	1.0L
保温効力	69°C以上	74°C以上	77°C以上
保冷効力	9°C以下	9°C以下	8°C以下

*保温効力とは室温 20°C±2°Cにおいて製品に熱湯を蓋ユニットの下端まで入れ、湯温が 95°C±1°Cになったとき、蓋ユニットをして縦置きにした状態で 6 時間放置した場合におけるその湯の温度です。

*保冷効力とは室温 20°C±2°Cにおいて製品に冷水を蓋ユニットの下端まで入れ、水温が 4°C±1°Cになったとき、蓋ユニットをして縦置きにした状態で 6 時間放置した場合におけるその水の温度です。

■交換部品

蓋ユニット



蓋パッキン



お問い合わせ

表示者 株式会社アトラス

〒192-0906
東京都八王子市北野町549-1第2石坂ビル
<https://www.atlas-scm.jp/>

お客様 TEL.042-660-8870

相談窓口 受付時間／9:00～18:00
月～金曜日（祝日・弊社休業日を除く）

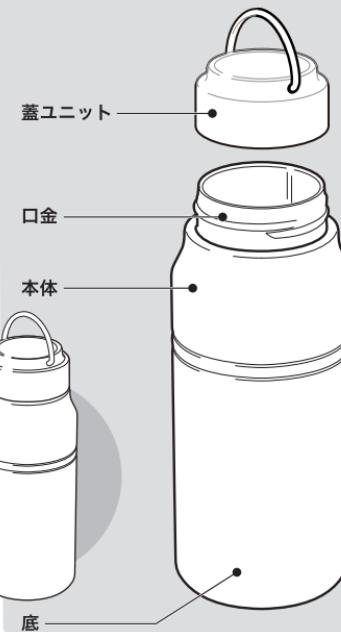
品質には万全を期しておりますが、万一不具合があった場合はご使用にならないで、お買い求めの販売店または上記お客様相談窓口までご連絡ください。

Atlas

ハンドル付き スクリュー ボトル

共通取扱説明書 AWPBシリーズ

●各部のなまえ



※説明中のイラストは実際のものと異なる場合があります。
また品質向上・改良のため、予告なく仕様・デザインなどを
変更することがありますのでご了承ください。

⚠ ご使用上の注意



●乳幼児の手の届くところには置かないでください。
やけどの原因となります。

注意 ●飲みものの保温・保冷以外の目的では絶対に使用しないでください。

●熱い飲みものを入れた場合、次の点を必ずお守りください。

- 断熱効果により、熱い飲み物を入れても外側は熱くなりません。注意してご使用ください。
- 傾いた状態、または顔を近づけた状態で蓋ユニットを開けないでください。
内圧が上がり、飲みものが激しく飛散したりしてやけどの原因になり危険です。
- 本体を急に傾けないでゆっくりと飲んでください。
急に傾けると、飲みものが勢いよく出てやけどの原因になり危険です。

●飲みものの量は、取扱説明書4ページ右下の図を参考にしてください。

入れすぎると蓋ユニットが開かなくなったり、閉めたときに飲みものが溢れ出す原因になります。
また、使用中に漏れ、やけどやものを汚す原因になり危険です。

●大きな氷を入れる場合は押し込まず小さく碎いて入れてください。

キズや溢れる原因となります。

●蓋ユニットが正しく取り付けられていることを確認してご使用ください。

飲みものが漏れ、やけどやものを汚す原因になり危険です。
蓋パッキンの取り外しの際は紛失及び未装着に注意してください。

●蓋ユニットを閉めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。

飲みものが溢れ出す原因になります。また漏れ、やけどやものを汚す原因になり危険です。

●蓋ユニットが確実に閉まっていることを確認してください。

閉め方が不十分で、傾けた場合飲みものが漏れ、やけどやものを汚す原因になり危険です。

●ストーブやコンロなど火気のそばに近づけないでください。

やけどや製品の変形や変色の原因になります。

●電子レンジで加熱しないでください。

火花が飛び危険です。ケガや事故、破損の原因になります。

●冷凍庫には入れないでください。

●本体の口元に熱いやかなどをあてないでください。
口元の変形・キズ、転倒してやけどの原因となり危険です。

●飲み終わったら、本体を立て、蓋ユニットを確実に閉めてください。

本体を傾けたりして飲みものが漏れないことを確認してください。

●飲みものを入れた状態で本体を逆さまにしないでください。

●製品の構造上、湿度が高いときに蓋ユニットに水滴がつく場合があります。ご注意ください。

●お茶などは早めにお飲みください。

長時間保存するとお茶の色や味が変わります。

●スポーツ飲料を入れた時は、使用後すぐにお手入れをしてください。
ニオイの付着やサビ等の原因になります。

●アルコール類は入れないでください。

●次のものは絶対に入れないでください。

- ドライアイス・炭酸飲料水
(内圧があり、蓋ユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、蓋ユニットが破損して飛散することがあります)

- 牛乳・乳製品・果汁など腐敗しやすいもの
(成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、蓋ユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、蓋ユニットが破損して飛散することがあります)
- お茶の葉・果肉
すぎなどにつまり、漏れてやけどやものを汚す原因になります。

●においの強いものを入れると、本体やパッキンにおいて残る場合がありますが、品質上問題はありません。

お手入れのしかたに従って汚れやにおいを落とした後、十分に乾燥させてください。

●飲みものを入れた状態で長く放置しないでください。

成分の腐敗や変質の原因になります。そのまま長く放置した場合、腐敗などによりガスが発生して内圧が上がり、蓋ユニットが開かなくなったり、飲みものが噴き出したり、蓋ユニットが破損して飛散することがあります)

●落としたり、ぶつけたりして強い衝撃を与えないでください。

変形や割れ、保温・保冷不良の原因になります。また蓋ユニットの破損原因になります。

●改造・修理・分解は絶対にしないでください。

破損、事故の原因となり危険です。

●バッグなどに入れるときは、本体を縦に置いてください。

万一の漏れを防ぎます。

●パソコン・デジタルカメラなどの精密機器と一緒に持ち運ぶのはやめてください。

万一、内容物が漏れた場合、精密機器の破損の原因になるおそれがあります。

●持ち運ぶ際、次の点を必ず守ってください。

持ち運ぶ際は、ふたキャップが確実に閉まっていることを確認してください。
また蓋ユニットを持って振り回すのは危険ですのでおやめください。

●運転中は危険ですので使用しないでください。

車内や衣服を汚したり、やけどの原因となり危険です。また、運転者の場合は運転への注意が散漫になり非常に危険です。ドリンクホルダーに入れる場合は、あらかじめホルダーの強度を確認してからご使用ください。強度や固定が不十分だと破損したり、外れて落下のおそれがあり危険です。

ご使用方法

ご使用の前に

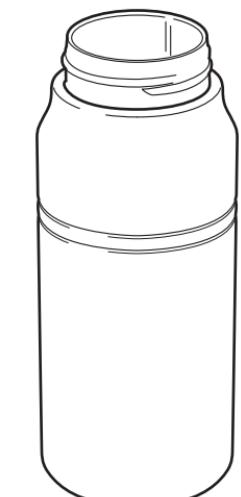
- はじめてご使用になる際は、食器用洗剤でよく洗ってからご使用ください。
- 製品にガタつき、破損などはないか確認してからご使用ください。
不具合があった場合、使用しないでください。

1 蓋ユニットをはずす

蓋ユニットをはずす。



まわす



2 飲みものを入れる

蓋ユニットをはずす。

飲みものの量は、下図の → 部までにしてください。入れすぎると蓋ユニットを閉めたときに中身が溢れる場合があります。

入れすぎた場合は、減らしてから、蓋ユニットを閉めてください。

*あらかじめ、本体に少量の熱湯(冷水)を入れ、1分程度置き、予熱(予冷)してから入れ替えると保温(保冷)に効果的です。

*熱い飲みものを入れた直後は、数十秒置いてから蓋ユニットをしてください。

3 蓋ユニットを閉める

蓋ユニットを閉める。



4 蓋ユニットを開けて飲みものを飲む

蓋ユニットを開けて、ゆっくり傾けながら

飲みものを飲んでください。

*熱い飲みものを入れた場合は、やけどにご注意ください。



5 飲み終わったら

飲み終わったら本体を立て、蓋ユニットを

閉める。

*蓋ユニットを開めるときは、本体を傾けたり揺らしたりしないでください。内容物が溢れ出たり、漏れたりして、やけどやものを汚す原因になります。

